
農林水産物・食品輸出支援プラットフォームの 今後の活動について

2024年12月24日

日本台湾交流協会

日本産農林水産物・食品輸出支援プラットフォーム

プラットフォームの今後の活動方針について

2024年度の活動方針

- 今後更なる輸出拡大を目指すに当たり、台北市、新北市といった北部の大都市のみならず、**台中、台南・高雄といった地方都市**における日本産食品のPRや商流の開拓に重点的に取り組む。
- **複数の事業者や都道府県、品目団体と連携し、オールジャパンでの取組**として進めていく。
- 日本国内の事業者向けに、レポートやメール等での発信により、**現地発のタイムリーな情報発信を行う**。



今後の活動方針（案）

●「支援体制の構築と情報発信の強化」

日本産食品を扱う皆さまの需要に応じたレポートの作成、メール等での情報発信を進めていく。

●「新たな商流の開拓」

台湾市場の需要を更に拡大していくにあたり、より効果的な取組の実施。

●「台湾消費者への販売促進、プロモーション」

台湾の消費者の需要を拡大していくにあたり、より効果的な取組の実施。

以上 3 つの取組について、

「オールジャパン」の形で、台北、新北のみならず**「地方都市」**での商流、需要拡大を目的とした活動を行っていく。

(参考) 意見交換テーマ

① 支援体制の構築と情報発信の強化

- 台湾でビジネスをされている事業者に対し、どのような内容の情報発信が必要か。
- 輸出に取り組む日本国内の事業者に対し、どのような内容の情報発信が必要か。

② 新たな商流の開拓（B to B の需要拡大）

- 今後、輸出支援 P F としてどのような取組に対する支援が求められているか。
（商談会や展示会への出展、中食・外食関係業界との連携強化、バイヤーの日本への招聘など）
- 地方都市での取組状況

③ 台湾消費者への販売促進、プロモーション（B to C の需要拡大）

- 今後、輸出支援 P F としてどのような取組に対する支援が求められているか。
（小売店等でのフェアや試食試飲イベント、インフルエンサーの活用、料理コンテストや食育活動との連携など）
- 地方都市での取組状況

④ その他

- これまでの取組に対するご意見・ご指摘
- 規制対応等でのお困りの事項
- 訪日インバウンドの増大をどのように輸出拡大に結びつけるか

ご静聴ありがとうございました。